|  |
| --- |
| **1/3　　2022年度　土木学会関西支部技術賞候補申込書** |
| ふ　り　が　な |  |
| 受賞候補業績名（35文字以内） |  |
| 事務連絡者 | ふりがな |  |
| 氏　　名 |  |
| 勤務先･役職 |  |
| 住　　所 | 〒TEL：FAX：E-Mail： |
| 楯･銘板(受賞時) | 　楯（1業績につき5者まで）　・　銘板（1業績につき1枚まで）※いずれかを選択し○印を記入 |

**注　　意　　書　　き**

１．技術賞候補申込書の記入にあたっては、募集要項をご一読ください。

２．申込書の2／3および3／3は各21部提出してください。その他の資料等の提出部数は申込書2／3の注意書きをご参照ください。

３．技術賞受賞者および技術賞部門賞受賞者には、賞状のほか楯あるいは銘板を贈呈します。なお、賞状、楯あるいは銘板に記載する業績名の短縮を依頼する場合があります。

**〔2／3について〕**

１．応募者は個人であるか団体であるかを選択し、個人の場合は氏名と所属、団体の場合は団体名を記入してください。

**〔3／3について〕**

１．3枚程度（5枚以内）に記入してください。

２．選択した評価項目毎に、業績の内容をできるだけわかりやすく記載してください。

**〔提出期限〕**：　**2022年10月3日（月）15時**

**〔提 出 先〕**：　公益社団法人土木学会関西支部「技術賞」係

〒541-0055

大阪市中央区船場中央2-1-4-409

電 話　06-6271-6686

ＦＡＸ　06-6271-6485

ＵＲＬ　https://www.jsce-kansai.net/

E-Mail　inf@civilnet.or.jp

|  |
| --- |
| **2/3　　2022年度　土木学会関西支部技術賞候補申込書** |
| ふ　り　が　な |  |
| 受賞候補業績名（35文字以内） |  |
| 応募者 | ふ　り　が　な | ※いずれかを選択し○印を記入 |
| 応募者名 [個人の場合は氏名（所属）、団体の場合は団体名 をご記入ください]※必要に応じて行を増減してください。 |
|  | 個人応募 ・ 団体応募 |
|  |
|  | 個人応募 ・ 団体応募 |
|  |
|  | 個人応募 ・ 団体応募 |
|  |
| 技術または事業の概要 | アピールポイント（技術の概要） |  |
| 該当する項目(1つ選択) | 1.総合（計画・設計・施工等）　2.計画　3.調査　4.設計　5.施工　6.維持管理7.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 該当する評価項目 | (1)新しい技術　＜①独創性、②独自性、③先駆性＞※①～③の１つ以上を選択し○印を記入（評価項目が該当しない場合は無でも可） |
| (2)使える技術　＜①汎用性、②発展性、③応用性＞※①～③の１つ以上を選択し○印を記入（評価項目が該当しない場合は無でも可） |
| (3)成し遂げた技術　＜①努力度、②困難の克服度、③使命感の程度＞※①～③の１つ以上を選択し○印を記入（評価項目が該当しない場合は無でも可） |
| (4)喜ばれる技術　＜①地域への貢献度、②地域への密着度＞※①～②の１つ以上を選択し○印を記入（評価項目が該当しない場合は無でも可） |
| 技術・事業名 | （注）維持管理・計画・調査・設計に関わる業績については、必ずしも記入する必要はありません。 |
| 実施場所 | （注）維持管理・計画・調査・設計に関わる業績については、必ずしも記入する必要はありません。 |
| 実施主体 | （注）維持管理・計画・調査・設計に関わる業績については、必ずしも記入する必要はありません。 |
| 実施期間 | （注）事業全体の始期～終期を記入してください。ただし、維持管理・計画・調査・設計に関わる業績については、必ずしもその必要はありません。 |
| 公表刊行物 | （注）発表済の刊行物、報告書等を必ず記入し、本書または写しを各1部提出ください。 |
| 添付資料 | 公表刊行物（代表物１点） | （注）上記『公表刊行物』欄に記入したものの中から１つを選び、本書または写しを21部提出ください。 |
| 参考資料（ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ・写真等） | （注）本書または写しを各21部提出ください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **3/3　2022年度　土木学会関西支部技術賞候補申込書** | No.　　　全 |
| ふ　り　が　な |  |
| 受賞候補業績名（35文字以内） |  |
| （注）本文は冒頭にその目的･概要を簡潔にまとめて記述した上で、選択した評価項目毎に、その内容を具体的かつ明確に記述してください。　　　また、重要なポイントにはアンダーラインを付し、フォントを変えるなど、強調してください。（※(1) 新しい技術については、従来技術との相違点等についてもわかりやすく記載してください。） |
| 1. 目的
2. 概要
3. 技術の概要
4. 新しい技術
5. 使える技術
6. 成し遂げた技術
7. 喜ばれる技術
 |